サーブレットのサンプルを作ります。

# 以下の流れで行います

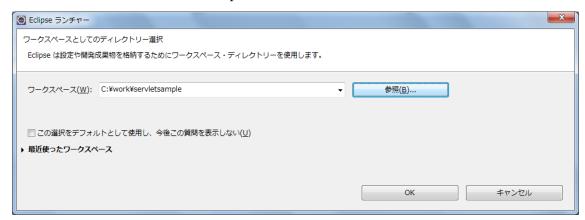
- 1. プロジェクトを作成する
- 2. サーブレットを記述する
- 3. **JSP** を記述する
- 4. 実行する

次ページより詳しい手順を記載します!

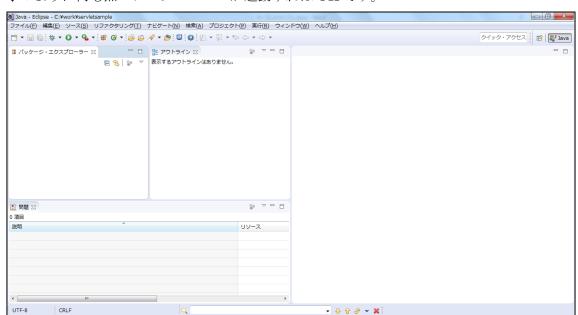
# 1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する

エクリプスを起動しましょう。

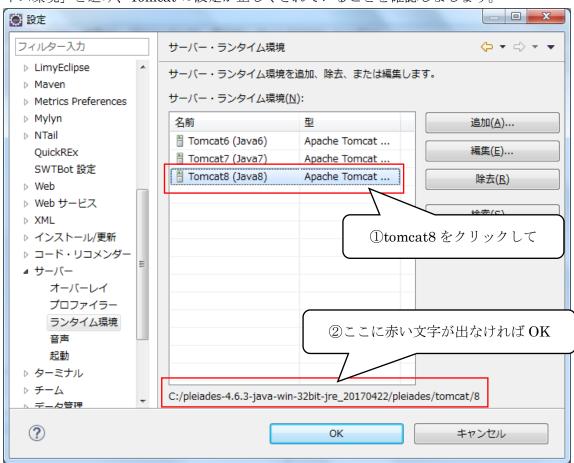
↓の画面で「c:\text{\text{\text{\$\subset}}} work\text{\text{\text{\$\subset\$}}} ervletsample」と記載します。



↓のように何も無いワークスペースが起動すれば OK です。



念のために、「ウインドウ」 - 「設定」で表示されるウイザードで「サーバー」 - 「ランタイム環境」と進み、Tomcat の設定が正しくされていることを確認しましょう。



もし、設定がされていない人は以前あった、「2\_Eclipse の設定資料.pdf」を見て設定しなおしましょう!

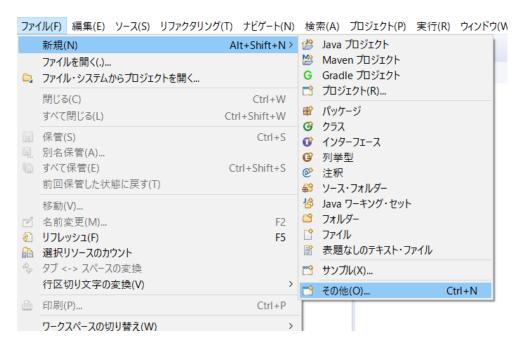
## 1. プロジェクトを作成する

エクリプスを起動しましょう。

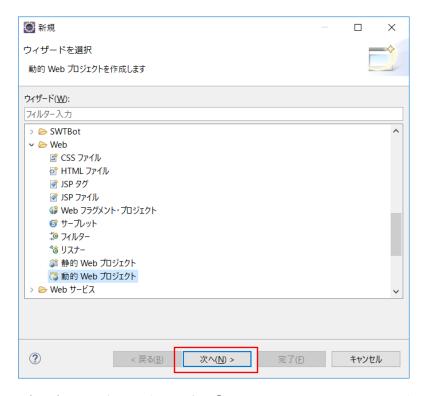
↓の画面で前回作ったワークスペース「c:\\\\\work\\\\\\\\\servletsample」と記載します。



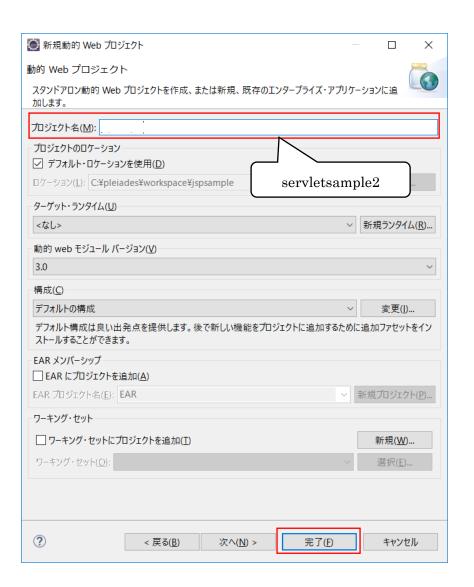
「ファイル」-「その他」を選択する



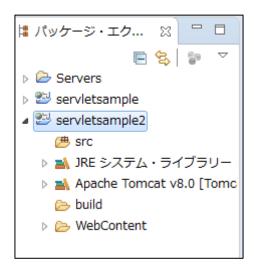
### 「動的プロジェクト」を選び、次へをクリックします



プロジェクト名を入力します。「servletsample2」にしましょう 入力したら完了をクリックします



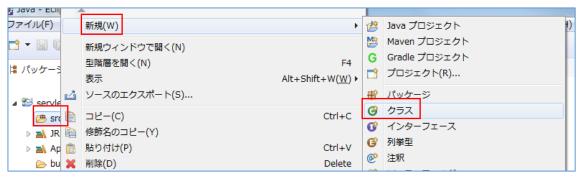
プロジェクトが作成されました。



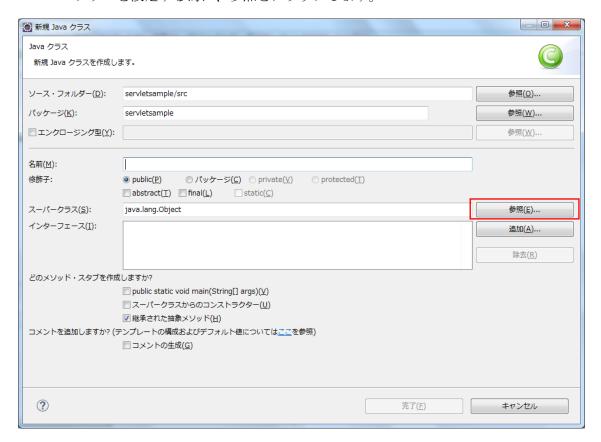
### 2. サーブレットを記述する

サーブレットを記述するためには、まずサーブレットクラスを追加する必要があります。

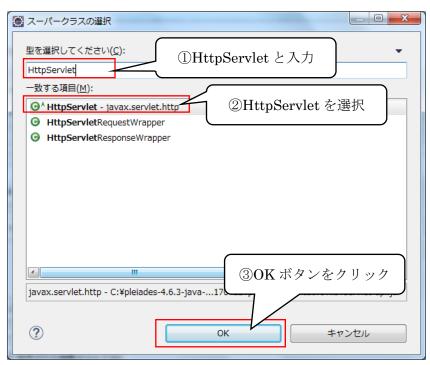
「src フォルダ」を選択して、右クリック→「新規」→「クラス」



スーパークラスを設定する為に、参照をクリックします。



表示されたダイアログで「HttpServlet」と入力し、HttpServlet を選択して OK ボタンを クリック



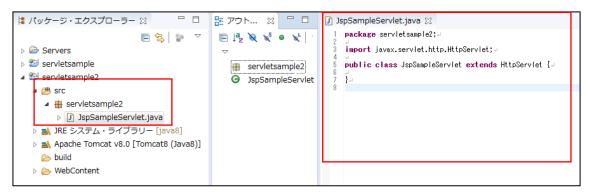
スーパークラスのところに HttpServlet が入れば OK

名前( <u>M</u> ):		
修飾子:	public( $\underline{P}$ )	
スーパークラス( <u>S</u> ):	javax.servlet.http.HttpServlet	
インターフェース( <u>I</u> ):		
どのメソッド・スタブを作品	成しますか?	

名前のところに「JspSampleServlet」と入力し、完了をクリック

名前( <u>M</u> ):	JspSampleServlet
修飾子:	public( $\underline{P}$ )
スーパークラス( <u>S</u> ): インターフェース( <u>I</u> ):	javax.servlet.http.HttpServlet

JspSampleServlet が作成されて、スケルトンが作成されます。



以下のコードを実装します。

※import は保存した時に自動で追加されます!

```
package servietsample2;

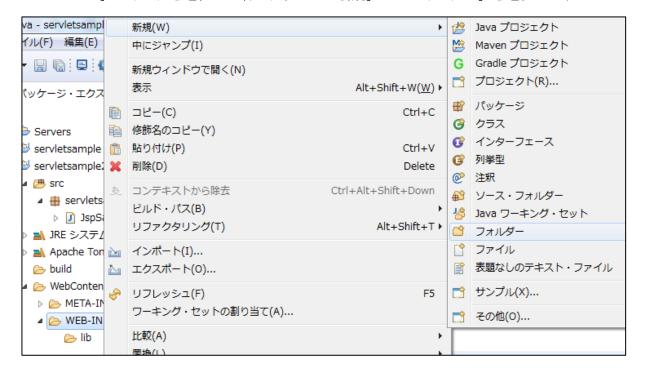
 2
 3⊕ import java.io.IOException; □
11
    @WebServlet("/servletjsp")↓
12
13
    public class JspSampleServlet extends HttpServlet {↓
14
15⊖
        @Override₄
16
        protected void doGet(#
17
                HttpServletRequest request, HttpServletResponse response)↓
                         throws ServietException, IOException {
18
19
20
21
22
23
24
            RequestDispatcher dispatcher = 4
                     request.getRequestDispatcher("WEB-INF/jsp/hello.jsp");-
            dispatcher.forward(request, response);
        } ...!
25
    }...
```

これでサーブレットは完成です。 つづいて、表示する JSP を作成します。

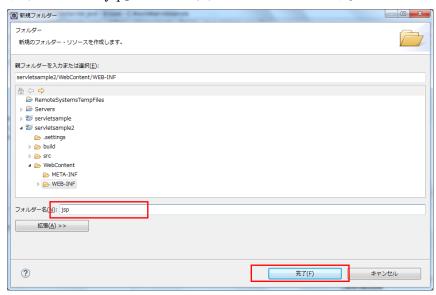
#### 3. JSP を記述する

まず、WebContents フォルダの中にある WEB-INF フォルダ内に jsp ファイルを置く専用のフォルダ jsp フォルダを作成します。

「WEB-INF」フォルダを選択して右クリック→「新規」-「フォルダー」を選択します



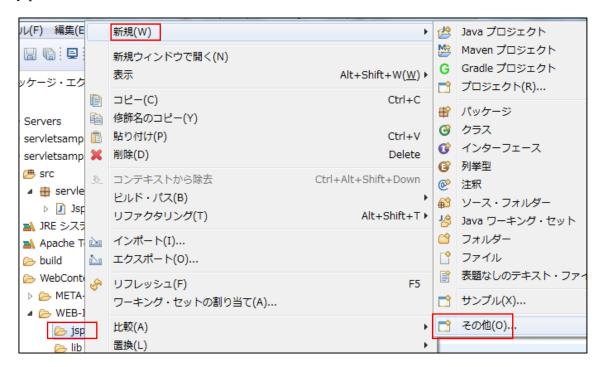
ウィザードで「jsp」と入力し、完了をクリックします。



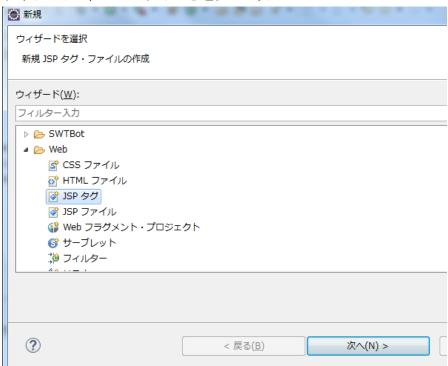
### jsp フォルダが出来ました!



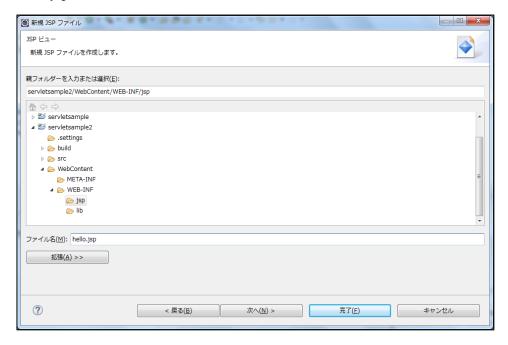
次に、jsp フォルダの中に hello.jsp ファイルを作成します。 jsp フォルダを選択し右クリック→「新規」-「その他」をクリック



ウィザードで、JSP ファイルを選択して次へ



hello.jsp を入力して完了をクリック

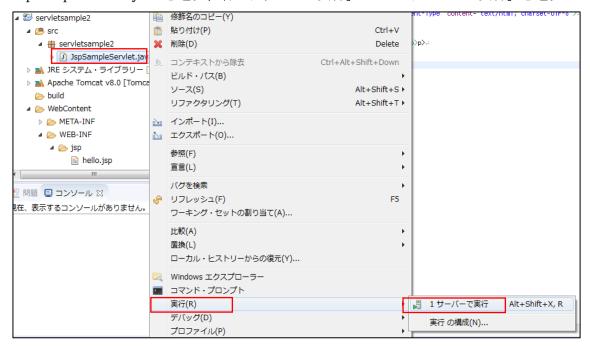


### JSP ファイルを↓の様に実装します。

### 3. 実行する

実行するには

JspSampleServlet.java を選択、右クリックー「実行」-「1 サーバーで実行」を選択



↓のように表示されれば OK です。



ついでに、ブラウザ (FireFox や Crome) でも見てみましょう! ブラウザを起動して、アドレスバーに

http://localhost:8080/servletsample2/servletjsp と入力すれば表示されます!